

検査申請書 目視検査

申請年月日：

申請者氏名又は名称：

申請者住所：

申請先登録検査機関名： ICheck株式会社

申請者連絡先

(電話・携帯・メールアドレス)

以下のとおり目視検査を申請するとともに、検査試料を無償で提供することに同意します。

検査対象植物等（その1）

番号	種類・名称	形態・用途	ロット番号・ 品種名	輸入国
01				
02				
03				
04				
05				

検査対象植物等（その2）

番号	産地（国名・都道府県名）	数量	梱数	梱包表示
01				
02				
03				
04				
05				

検査対象植物等（その3）

番号	備考（輸入国の要求事項等）
01	
02	
03	
04	
05	

記載に当たっての留意事項

- ・検査は申請書の記載の内容に従って行うことから、過不足なく記載すること。
- ・輸入国が要求する目視検査の内容を確認し、必要に応じ、詳細が分かる資料を添付すること。
- ・申請書は、申請者ごとに作成すること。
- ・ロット番号・品種名及び輸入国ごとに行を分けて記載すること。ただし、ロット番号・品種名が複数ある場合であっても種類・名称ごとに受検を希望する場合は、種類・名称ごとに行を分けて記載し、ロット番号・品種名欄にハイフン（-）を記載すること。
- ・種類・名称欄には、検査対象植物等の植物名（和名又は学名）を記載すること。
- ・形態・用途欄には、苗、植木、盆栽、球根、種子、切り花、生果実、生野菜、食用種子、乾燥植物、木材等を記載し、必要に応じて、植物の部位（地上部、地下部）、加工状態（粉末、細断等）等を記載すること。
- ・数量欄には、受検する数量及びその単位（個、kg、㎡等）を記載すること。
- ・備考欄には、目視検査の参考となる情報を記載すること。
- ・物品の場合は、種類・名称欄には、品目（トラクター、海苔、赤玉土等）を記載するとともに、申請者が過去に物品に関し目視検査報告書又は植物検疫証明書の交付実績があり、情報通信機器を用いた検査を希望する場合は、備考欄にリモート検査希望と記載すること。
- ・中古農業機械については、ロット番号・品種名欄に該当する9桁の輸出統計品目番号（輸出統計品目表及び輸入統計品目表を定める等の件（昭和62年6月30日大蔵省告示第94号）に規定するもの）を記入すること。

記入例

検査申請書 目視検査

申請年月日：令和5年4月〇日

申請者氏名又は名称：〇〇(株) 山田 太郎

申請者住所：東京都千代田区XXXX

申請先登録検査機関名： ICheck株式会社

申請者連絡先

(電話・携帯・メールアドレス)

以下のとおり目視検査を申請するとともに、検査試料を無償で提供することに同意します。

検査対象植物等（その1）

番号	種類・名称	形態・用途	ロット番号・ 品種名	輸入国
01	トマト	栽培用種子	－	フランス
02	キュウリ	栽培用種子	S1234567	フランス
03	ブロッコリー	栽培用種子	－	フランス
04	ニンジン	栽培用種子	－	フランス
05	キャベツ	缶詰種子	Green ball	フランス

検査対象植物等（その2）

番号	産地（国名・都道府県名）	数量	梱数	梱包表示
01	東京都	1.0kg	1カートン	TOKYO
02	東京都	2.0kg	01と同じ	同上
03	東京都	0.5kg	01と同じ	同上
04	東京都	3.0kg	2カートン	同上
05	中国	2.3kg	04と同じ	同上

検査対象植物等（その3）

番号	備考（輸入国の要求事項等）
01	栽培地検査及び精密検査済み
02	－
03	－
04	－
05	－

記載に当たっての留意事項

- ・検査は申請書の記載の内容に従って行うことから、過不足なく記載すること。
- ・輸入国が要求する目視検査の内容を確認し、必要に応じ、詳細が分かる資料を添付すること。
- ・申請書は、申請者ごとに作成すること。
- ・ロット番号・品種名及び輸入国ごとに行を分けて記載すること。ただし、ロット番号・品種名が複数ある場合であっても種類・名称ごとに受検を希望する場合は、種類・名称ごとに行を分けて記載し、ロット番号・品種名欄にハイフン（－）を記載すること。
- ・種類・名称欄には、検査対象植物等の植物名（和名又は学名）を記載すること。
- ・形態・用途欄には、苗、植木、盆栽、球根、種子、切り花、生果実、生野菜、食用種子、乾燥植物、木材等を記載し、必要に応じて、植物の部位（地上部、地下部）、加工状態（粉末、細断等）等を記載すること。
- ・数量欄には、受検する数量及びその単位（個、kg、㎡等）を記載すること。
- ・備考欄には、目視検査の参考となる情報を記載すること。
- ・物品の場合は、種類・名称欄には、品目（トラクター、海苔、赤玉土等）を記載するとともに、申請者が過去に物品に関し目視検査報告書又は植物検疫証明書の交付実績があり、情報通信機器を用いた検査を希望する場合は、備考欄にリモート検査希望と記載すること。
- ・中古農業機械については、ロット番号・品種名欄に該当する9桁の輸出統計品目番号（輸出統計品目表及び輸入統計品目表を定める等の件（昭和62年6月30日大蔵省告示第94号）に規定するもの）を記入すること。

検査申請書 目視検査申請書（再輸出）

申請年月日：

申請者氏名又は名称：

申請者住所：

申請先登録検査機関名： ICheck株式会社

申請者連絡先

(電話・携帯・メールアドレス)

以下のとおり目視検査（再輸出）を申請するとともに、検査試料を無償で提供することに同意します。

検査対象植物等（その1）

番号	種類・名称	形態・用途	ロット番号・ 品種名	輸入国
01				
02				
03				
04				
05				

検査対象植物等（その2）（再梱包 ☐有 ☐無 容器包装の変更 ☐有 ☐無）

番号	産地（国名・都道府県名）	数量	梱数	梱包表示
01				
02				
03				
04				
05				

検査対象植物等（その3）

番号	備考（輸入国の要求事項等）
01	
02	
03	
04	
05	

記載に当たっての留意事項

- 1 検査は申請書の記載の内容に従って行うことから、過不足なく記載すること。
- 2 輸入国が要求する再輸出における目視検査の内容を確認し、必要に応じ、詳細が分かる資料を添付すること。
- 3 申請書は、申請者ごとに作成すること。
- 4 ロット番号・品種名及び輸入国ごとに行を分けて記載すること。ただし、ロット番号・品種名が複数ある場合であっても種類・名称ごとに受検を希望する場合は、種類・名称ごとに行を分けて記載し、ロット番号・品種名欄にハイフン（-）を記載すること。
- 5 種類・名称欄には、検査対象植物等の植物名（和名又は学名）を記載すること。
- 6 形態・用途欄には、苗、植木、盆栽、球根、種子、切り花、生果実、生野菜、食用種子、乾燥植物、木材等を記載し、必要に応じて、植物の部位（地上部、地下部）、加工状態（粉末、細断等）等を記載すること。
- 7 数量欄には、受検する数量及びその単位（個、kg、㎡等）を記載すること。
- 8 備考欄には、目視検査の参考となる情報を記載すること。
- 9 物品の場合は、種類・名称欄には、品目（海苔、赤玉土等）を記載するとともに、申請者が過去に物品に関し目視検査報告書又は植物検疫証明書の交付実績があり、情報通信機器を用いた検査を希望する場合は、備考欄にリモート検査希望と記載すること。

記入例

検査申請書 目視検査申請書（再輸出）

申請年月日：令和5年4月〇日

申請者氏名又は名称：〇〇(株) 山田 太郎

申請者住所：東京都千代田区XXXX

申請先登録検査機関名： ICheck株式会社

申請者連絡先

(電話・携帯・メールアドレス)

以下のとおり目視検査（再輸出）を申請するとともに、検査試料を無償で提供することに同意します。

検査対象植物等（その1）

番号	種類・名称	形態・用途	ロット番号・ 品種名	輸入国
01	トルコギキョウ	缶詰種子	R1234567	デンマーク
02	トルコギキョウ	缶詰種子	S1234567	デンマーク
03	トルコギキョウ	栽培用種子	R1234567	デンマーク
04	パンジー	栽培用種子	T1234567	デンマーク
05	キンギョソウ	栽培用種子	T1234567	デンマーク

検査対象植物等（その2）（再梱包 ☐有 ☐無 容器包装の変更 ☐有 ☐無）

番号	産地（国名・都道府県名）	数量	梱数	梱包表示
01	チリ	1.0kg	1カートン	—
02	チリ	5.0kg	2カートン	—
03	チリ	1.2kg	1カートン	—
04	チリ	1.5kg	1カートン	—
05	チリ	2.0kg	1カートン	—

検査対象植物等（その3）

番号	備考（輸入国の要求事項等）
01	—
02	—
03	—
04	—
05	—

記載に当たっての留意事項

- 検査は申請書の記載の内容に従って行うことから、過不足なく記載すること。
- 輸入国が要求する再輸出における目視検査の内容を確認し、必要に応じ、詳細が分かる資料を添付すること。
- 申請書は、申請者ごとに作成すること。
- ロット番号・品種名及び輸入国ごとに行を分けて記載すること。ただし、ロット番号・品種名が複数ある場合であっても種類・名称ごとに受検を希望する場合は、種類・名称ごとに行を分けて記載し、ロット番号・品種名欄にハイフン（—）を記載すること。
- 種類・名称欄には、検査対象植物等の植物名（和名又は学名）を記載すること。
- 形態・用途欄には、苗、植木、盆栽、球根、種子、切り花、生果実、生野菜、食用種子、乾燥植物、木材等を記載し、必要に応じて、植物の部位（地上部、地下部）、加工状態（粉末、細断等）等を記載すること。
- 数量欄には、受検する数量及びその単位（個、kg、㎡等）を記載すること。
- 備考欄には、目視検査の参考となる情報を記載すること。
- 物品の場合は、種類・名称欄には、品目（海苔、赤玉土等）を記載するとともに、申請者が過去に物品に関し目視検査報告書又は植物検疫証明書の交付実績があり、情報通信機器を用いた検査を希望する場合は、備考欄にリモート検査希望と記載すること。